

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	生涯学習推進事業			
予算科目	10 款 5 項 1 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 生涯学習の推進			
所管課情報	担当課:	社会教育課	電話番号(内線):	737
記入者情報	所属長:	森田 誠司	担当責任者:	野間 美幸
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	一般市民			
根拠法令等	社会教育法、生涯学習振興法、社会教育審議会答申、中央教育審議会答申			
事業の目的	市民一人ひとりの自由な個人の学習が発展して、地域社会に主体的に参加し、様々な地域課題に取り組むことができるよう支援する。			
事業の内容	地域の福祉や環境、子育てなど実際の生活に密着した学習テーマの設定や地域の関係機関・団体と連携した参加型のプログラムづくりを行い学習の機会の拡充を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	HPを使った募集参加者からアンケート回収により考察を行う。各事業の目的別に募集範囲を絞る。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	4,555	4,818	1,733	3,645
	人件費	12,726	13,108	6,554	13,108
	合計	0	17,926	8,287	16,753
人件費 内訳	人工数	1.60	1.63	0.82	1.63
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	12,726	13,108	6,554	13,108
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	17,281	17,926	8,287	16,753

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
生涯学習推進大会	人	340	300	0	290
成人式	人	329	300	0	305
その他活動事業数	事業	6	7	5	7
その他活動事業参加延人数	人	1759	1827	521	1706

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	6,700	6,700	6,700	0	0	20,100

成果指標				
成果指標	主な活動指標事業の参加者数その他活動事業数と参加延人数			
指標設定の考え方	①主な事業の参加者数、②その他活動事業数、③②の参加延人数とし、多様な学習機会の創設と選択的学習の推進への指標とする			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	8事業1315人	7事業1500人	0	0
実績	6事業1759人	7事業1706人	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	市民が必要としている生涯学習の機会提供するために市民からの声をくみ上げるよう努力したが、市民に返す機会や範囲が狭かった。もっと多くの範囲の市民に機会を提供したい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	過疎化、少子高齢化、価値観の多様化等により、地域社会の繋がりも希薄になっている。地域コミュニティの持続、発展のためにも、地域及び人々の抱える様々な問題をテーマとし、その解決に向けた学習活動の機会を提供しながら、人と人とのつながりによる地域の教育力を高める生涯学習を推進しなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題